

北信濃里山通信 vol.29

2017年11月3日発行

巻頭言 里山の保全活用と経営 持続的な活動をするためには・・・

北信濃の里山を保全活用する会事務局 福本匡志

当会が設立されて7年目が経過しようとし、これまで里山保全活用の活動が続けられてきたことに対して会員各位や協力いただいた方々に感謝します。

飯山市内のオオルリシジミ生息地では今年本種の発生が確認できず、先行きちょっと心配なところもありますが、飯山市戸狩地区での試行的放蝶は定着と生息範囲の広がりが期待できそうで、生息地に自



オオルリシジミ(戸狩地区の放蝶地で)

生するカヤの活用についても安定的な需要(買い取り)が見込めそうなこともあり、これまでの里山保全活用の活動を継続し発展させたいところです。

里山保全のためには、その環境を維持し続けるための持続的な活動が必要で、人手や資金の永年的な確保などその仕組み作りが大切と考えられ、活動を経営化していく必要があるように思います。自立した経営を続けるためには公的な助成金などにずっと頼るわけにはいかないでしょうし、里山資源の活用、カヤを売却してお金を得るように利益を出すことも考えなければならないのですが、利益を出すことは持続的な活動をするための手段・条件として位置づけられます。ただ、利益の追求に走ると本来の活動の目的を見失ってしまう心配があり、「里山保全」という大義は忘れてはならないでしょう。

アメリカの経営学者のP. F. ドラッカーは「企業の(経営する)目的は顧客の創出である」と論じていますが、里山保全活用を通じた顧客作り(カヤなど里山資源の売り先、都会から観光に訪れる方々などの誘客・・・等々)を進め、結果的に利益をもたらすような事業を行い、持続的な活動を行って地域の社会貢献につなげられるのが理想で、そのような経営的視点からも、保全活用を進める必要があると考えます。

お知らせ

・「2017 カヤ刈りワーキング」

本年も飯山市内のオオルリシジミ生息地でスキの採取「カヤ刈り」を行います。

昨年に採取したカヤは、例年どおり「小谷屋根」に買い取っていただきました。カヤの金額は41,000円になり、当会の会計に入金し、活動資金に充てたいと思います。

買い取られたカヤは、戸隠中社の宿坊の屋根の葺き替えに使われました。10月にその現場に行ってきましたが、積雪前に工事を終わらせようと職人さんたちが忙しそうに作業をされていました（右写真）。「小谷屋根」の松澤さんによると茅葺き屋根の修理工事は、この後も控えているようで、カヤもまだまだ需要があり、カヤの確保にも苦労されることもあるようです。

会としても県内の文化財維持のため、多少なりとも供給していければと考えます。



戸隠での茅葺き屋根の葺き替え工事
当会で採取したカヤが使われます。

本年の「カヤ刈り」は以下のとおり行います。作業には刈り取りの他、選別や結束・搬入など人手がかかりますので、多くの方に御参加いただきますようお願いいたします。会員のみならず、一般の方も歓迎です。参加者には慰労として、「戸狩温泉利用券」を進呈します。また、当日は「小谷屋根」の職人さんにもお越しいただき、刈り取り作業の指導を行っていただきます。

日時及び集合場所（作業場所）

日時 平成29年11月18日（土）9:30～15:00（9:00～集合・受付）
集合場所 「飯山市公民館」駐車場（9:00集合、その後作業場所に移動）
作業場所 飯山市オオルリシジミ生息地

日程

9:00 集合（「飯山市公民館」駐車場）、受付
9:30 開会・日程説明など
9:35 カヤとその利用についてのおはなし
9:45 作業説明、作業班分け（刈り取り、選別、結束、運び出しなど分担）
9:50 午前作業開始
12:00 午前作業終了、昼食
13:00 午後作業開始
14:50 午後作業終了、収穫したカヤの講評など
15:00 閉会、カヤを飯山市静間・荒船農村公園へ搬入。

参加申し込み

飯山市ふるさと館TEL:0269-67-2030（担当：宮澤、月曜日は休館日）へ、11月15日（水）までに連絡してください。

その他

作業に適した靴・服装で参加してください。刈り取りは鎌による手刈りですが、慣れない方には選別や結束などを行っていただきます。カヤ運搬のため、軽トラックで参加いただくとありがたいです。

昼食は各自で用意してください。副食に「豚汁」を用意します。中止すべきような悪天候が予想される場合は、前日夕方までに連絡します。

・オオルリシジミ生息地の環境整備と野鳥調査観察会

オオルリシジミ生息地の環境整備と野鳥の調査観察会を以下のとおり行います。

環境整備は例年のとおりオオルリシジミが生息できる草原環境を維持するため、灌木や幼木類の伐採です。特にオオルリシジミが比較的多く見られた生息地中段の上部はここ3年くらい手が入っておらず、カラムツやシラカバ、コナラなどが背丈を超えるくらいに伸びてきており、伐採して森林化を防ぐ必要があります。

また、最近ではクズもはびこるようになってきており、ツルが巻き付き、食草のクララを覆うなど影響も考えられ対処したいところです。ススキについても、枯葉の堆積を抑えて食草クララの発芽や生育を促せるよう、可能であればカヤとしての刈り取りを併せて実施したいと思えます。今年最後の野外作業になるかと思いますが、御協力をお願いします。

野鳥調査観察会はオオルリシジミ生息地での「生きもの調査」の一環として、当会会員で鳥類専門家の丸山和麻さんに指導いただきながら野鳥類の調査を行います。昨年からは実施していますが、関心のある方は是非参加してください。

日時 平成29年11月25日（土）環境整備…9:00～12:00
野鳥調査…13:00～15:00

集合場所 環境整備・カヤ刈りは8:30、野鳥調査観察会は12:30に飯山市公民館前集合とします。途中から参加される場合は、現地へ直接お越しください。

作業内容 刈り払いによる歩道の整備、灌木類の伐採作業、カヤの採取・・・など
生息する野鳥類の確認調査と観察

その他 昼食は各自で用意いただき、作業に適した服装でお越しください。
野鳥観察会では双眼鏡、カメラなど持参。天候不良の場合は、中止とします。

活動報告など

・オオルリシジミ生息地での草刈り、保護区看板等撤収作業

オオルリシジミのシーズンが終了した8月以来も会員の三井さん、坪井さんを中心に生息地のパトロール、草刈りなどを随時実施していただきました・・・ごくろうさまでした。

最近では生息地に至る道も十分手が入らなくなり、年々草の勢いが強くなっているように感じられ、放置すると車の通行にも支障が出そうです。

生息地の入口周辺や沿道では、特に外来雑草のオオブタクサが目立つようになってきており、草丈が高くなり草地を占有し、植生への影響が大きいことと秋の花粉症の原因にもなっており非常に厄介です。通行や荒廃阻止のためにも、定期的な草刈りが必要であることを改めて痛感しました。今後、地区の近隣の方々とも草刈作業を含め活動を考えたいと思えます。



生息地の通路・道の整備・・・カヤ刈りもこれでOK

10月に入り、雨が多い日が続きましたが、草刈による生息地内外の道や通路の整備、保護区設営のロープ、看板や監視カメラの撤収は終わり、カヤ刈り、環境整備の準備が整ったところです。

・オオルリシジミ生息地での昆虫調査・バッタ編

草原性の昆虫といえば、バッタ類を思い浮かべる方も多いと思いますが、オオルリシジミ生息地でもどのような種類が見られるのか調査を始めました。比較的多く見られたのがショウリョウバッタモドキ。ショウリョウバッタに似ていますが小型で、脚が短いのが特徴です。南方系の種類のように長野県では数が少なく、ここでの記録は注目されます。



ショウリョウバッタモドキ

湿性のイネ科草原を好んで生息するよう
で、絶滅危惧種に選定している県もあります。

その他、イナゴやコオロギ類についても、専門家に協力をお願いしながら調査を進めたいと考えています。

・小谷村でのカヤ刈りに参加

10月28日、小谷村の榑池高原近くにある「ふるさと文化財の森・牧の入茅場」でのカヤ刈りに井田会長と事務局の福本で参加してきました。



小谷村「牧の入茅場」

ここは江戸時代から利用されてきたカリヤス（コガヤ）の茅場で、面積は約6ha、これほどの規模のカリヤスの茅場は全国的にも希少のようですが、最近ハススキ（オオガヤ）も増えているそうです。

この日、午前中は村内の中学生と保護者の方々、午後は日本茅葺き文化協会が企画したイベント参加者の方々とカヤ刈りを行いました。

刈り取ったカヤは6把を一つに束ねて立てて乾燥、積雪前に搬出するそうです。毎年5月連休の最終日に「火入れ」を行っていますが、草原の管理手法など会の保全活用の参考にしていきたいと思います。

編集後記

秋も深まり、恒例となったカヤ刈りが近づいてきました。茅葺屋根の葺き替え工事と小谷村でのカヤ刈り作業を見て、改めてカヤが必要とされていることを実感しました。茅葺きは世界各地にあります、日本のものは葺きが厚く独特なようで、豊富な草地資源をうまく活用していたことがうかがえます。日本の原風景にある「草原と茅葺き民家」を会の活動で遺していきたいと思っておりますので、是非御協力ください。

発行者：北信濃の里山を保全活用する会 会長 井田秀行

事務局：〒389-2253 飯山市大字飯山1434-1

飯山市ふるさと館内

TEL/FAX：0269-67-2030

E-mail：furusato@city.iiyama.nagano.jp

編集者・事務局長：福本匡志